

我ら、山形市 地域おこし 協力隊！⑬

たまの まさゆき
玉野 将之



これまでの経験を生かし、多くの人に山形市を訪れてみたいと思ってもらえるような取り組みを行いたい。そんな思いを胸に、玉野将之さんが令和7年9月、山形市地域おこし協力隊員に就任しました。

―なぜ山形市を選んだのですか？

自然環境が豊かで、人とのつながりを大切にしている地域だと知り、興味を持ったことがきっかけです。実際に足を運び地域の方とお話する中で、穏やかで温かい雰囲気になれ、このまちで暮らし、関わっていききたいと感じるようになりました。

―実際に暮らしてみても、イメージとの違いはありましたか？

自然の豊かさだけでなく、地域行事や人との交流が活発で、世代を超えたつながりが大切にされている、温かさや活気のあるまちだと感じています。

―どんな活動をするのですか？

市での暮らしや地域行事などをSNSを通じて発信し、多くの方に市の魅力を知ってもらう活動を行います。また、古民家改修にも取り組み、新たな交流や人の流れが生まれるきっかけづくりを目指します。

―今後の目標は？

まずは地域のことを深く知り、市の一員として信頼していただける存在になることです。地域の皆さんと一緒に市の魅力を見つけ、育て、次の世代へつなげていけたらうれしいです。

山形市×山形市×山形村

やまがた協定のロゴマークが決まりました！

まちづくり・企業支援課 TEL22-6831



YAMAGATA

▶制作者

鈴木胡桃さん(岐阜県立岐阜城北高等学校3年生)

▶デザインの特徴

全体を共通する「山」という漢字に見立ててデザインしました。その形の中に、各地域の特産品や伝統行事、自然の風景を描き込み、土地ごとの魅力をひとつの形にまとめています。

山形市と山形県山形市、長野県山形村は、それぞれの文化や資源などを有効に活用し、互いに連携してやまがたブランドの価値を高め、持続的な発展を図ることを目的に、令和7年7月24日に連携協定を締結しました。

今後さらに3者の魅力を広く発信するため、3者による連携を象徴するロゴマーク(やまがた協定ロゴマーク)の募集を行ったところ、全国から56作品の応募がありました。そのうち3作品が一次審査を通過し、10月に名古屋市で行った、3つの「やまがた」いいもの市で決選投票を行った結果、左の作品に決定しました。

ロゴマークは、3者の魅力を広く発信するためイベントや広報物など幅広く活用していきます。応募いただいた皆さん、投票に協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

Instagram 発信中！



3つのやまがたに関する情報を共同のInstagramで発信しているよ。フォローして応援してね！



ナッチョルくん



市HP



LINE



Instagram



YouTube



環境に配慮した植物性インキを使用しています。

